

展開例1 「わくわく」の結果を振り返る

1. ねらい

- ①自分を知ること、進路の適性、進路設計を考えることに意欲や関心をもつことができる。
- ②将来の夢や希望の進路に向けて、今から取り組むべきことを考えることができる。
- ③自分の良いところ、伸ばすべきところについて、具体的に把握することができる。
- ④「わくわく」の測定する特性と生徒用「アドバイスシート」の結果を適切に理解する。

2. 準備するもの

- ①生徒用ハンドブック「わくわくブック」
- ②生徒用「アドバイスシート」
- ③ワークシート「ワーク1 『わくわく』の結果を振り返ろう」（「わくわくブック」7ページ）

3. 展開（50分）

○：指導上の留意点 ◆：評価規準

| | 時間 | 学習内容・活動 | 指導上の留意点および評価 |
|---------|-----|--|--|
| 導入 | 10分 | <p>●個性や適性を考えることの必要性を理解する。</p> <p>・適性検査は自分を考える大事なデータであることを確認する。</p> <p>「わくわく」を実施したのは、あなたの個性を見つけるためです。自分のことは自分がよく知っている、と思っている人もいるでしょうが、それは本当のあなたなのか、この「アドバイスシート」でチェックしてみましょう。</p> <p>・2ページのジョハリの窓のイラストをみせながら、心の4つの窓の説明をする。</p> <p>他人が知っている←→他人が知らない、自分が知っている←→自分が知らない、で心を分けると4つの窓ができます。</p> <p>・「わくわく」から『開かれた窓』を大きくして、自分の個性を正確に把握する。</p> | <p>○ジョハリの窓とは、アメリカの心理学者ジョセフ・ルフトとハリー・インガムの名前から取られたコミュニケーション技法の一つである。</p> <p>○『開かれた窓』を大きくするということは、「自己開示」を行うということである。自己開示とは、自分を他人・社会にオープンにすること。</p> <p>◆「わくわく」で自己開示を行い、適性を考えることにつなげさせたい。</p> |
| 展開 1 | 15分 | <p>●「アドバイスシート」を理解する。</p> <p>・「希望を実現する」</p> <p>希望実現アドバイスがあります。自分の希望に適性が高かった人もいれば、あまり高くなかった人もいるでしょう。ここをしっかりと読んで自分の伸ばすところ、頑張るところを把握してみましょう。</p> | <p>○「わくわくブック」の3ページから「アドバイスシート」の説明をする。</p> |

| 時間 | 学習内容・活動 | 指導上の留意点および評価 |
|---------|---|---|
| | <p>・「個性をみつける」</p> <p>ここに3種類のあなたの個性のデータが出ています。最初は「興味プロフィール」、あなたの『好き』というやる気の素を測定しています。次に「性格プロフィール」、やりたい職業や学びたい学問を考えるのに自分の性格が適しているかを考えなければなりません。最後は「能力プロフィール」、自分が何を得意としているのかを考えるのはこれから進路を決める上でとても大事なことになるでしょう。</p> <p>・「進路を考える」</p> <p>「進路を考える力」は、あなたがこれから積極的に真剣に将来設計をする力が表れています。「文理判定マップ」はこれから学問や職業を選択するときの目安になるはずです。「入試、面接、自己推薦書にここを使おう」のコメントはあなたの長所です。</p> <p>・「適性をみつける」</p> <p>進学適性も大切ですが、職業の適性も大事ですよ。あなたはいつかは社会人となり、職業に就くのです。ある職業にあこがれて進学先を決めることも多いのです。今回適性が出なかった人、出すぎて逆に混乱してしまった人は、「わくわくブック」の1ページをしっかりと読んでください。そこにはさまざまな適性の出方をした人のための回答が載っています。参考にしてくださいね。</p> | <p>○4ページの「個性をみつける」に注目させる。適性は最終的には自己責任で選択するものである。そのために自分の興味・性格・能力を考えさせることが自己理解につながる。</p> <p>◆自分の長所が発見できたか。おぼろげながらも個性と進路を結びつける手がかりを得たか。</p> <p>○5ページの「進路を考える」は今後のキャリアプランニングに有効に活用させたい。</p> <p>○5・6ページの「適性をみつける」を説明する。特に総合適性はこれから変化すること、学校生活の送り方次第で、現在より良くも悪くもなることを注意する。</p> |
| 展開 2 | <p>●7ページの「『わくわく』の結果を振り返ろう」のワークを行う。</p> <p>・興味プロフィールと性格プロフィールを自己理解し、自分の個性と職業に結びつけるトレーニングをする。</p> <p>・「3. 今できることは？」では自己実現までのストーリーを考えさせる。</p> | <p>○興味というのは、「やりたい」という原動力である。現在段階点の高いものがなくても、これから何かを好きになれば、それが興味につながることを示唆する。</p> <p>○自分の性格プロフィールから長所を導き出し、今後、就職や入試場面で、具体的に語れるようにしたい。</p> <p>◆「適性をみつける」の結果も加味しながら、進路を考えることができたか。</p> |
| まとめ | <p>●自己理解した結果を職業・学問に結びつけて考える。</p> | <p>◆「わくわく」を何のために実施したのか理解できたか。総合適性に疑問があれば、もう一度1ページの「Q & A」を確認させたい。</p> |

4

ワーク1 『わくわく』の結果を振り返ろう

年 月 日



1. 「興味プロフィール」を振り返る

あなたの「興味プロフィール」で得点の高い特性に関連がある職業は何かを考えて書いてみよう。

私の「興味プロフィール」で得点の高い特性は

同じ得点がある場合は好きなものを1つ選んで記入しよう!

です。

その特性に関連があると思う職業は

6ページの職業分野の職業名を参考にしよう! いくつ書いてもOK!

です。

2. 「性格プロフィール」を振り返る

「性格プロフィール」の得点の高い特性は「あなたの長所」です。特性の内容を、あなたらしさや個性が発揮される表現で書き直してみよう。

記入例

チャレンジ精神



記入例

新しいものが好き! 知らないところでも平気で行ける!



3. 今できることは?



将来の夢や希望の進路を実現するために、今できることは何だろう。「希望を実現する」の「2. こうすれば自己実現への一歩が始まる」も参考にしながら、これから取り組むことや心がけることを書いてみよう。

記入例 保育士になれる大学に入れるように毎日の授業をきちんと受ける。保育士の資格をとれる大学を調べてみる。母が保育士なので母に保育士について話を聞いてみる。

